

カテゴリー		評価項目	評価
目的・意識	研究テーマ設定の着眼点、独創性、位置づけ・意義の理解など	☐ 自分の研究の学問的・社会的意義がアピールできている。 ☐ 研究テーマについての目的意識や仮説が明快である。(* 1) ☐ 研究テーマについて自分なりの視点が含まれている。(* 2) ☐ 研究テーマに関する先行研究や関連分野についてよく調べ、テーマの位置づけや背景を理解している。(* 3) ☐ 高度な課題解決を目指しており挑戦的である。(* 4)	5
方法・プロセス	創意工夫、継続性、探究力の発揮など	☐ 研究方法が緻密であり、かつ自分なりの創意工夫が見られる。(* 1) ☐ 研究の進め方が計画的で自立的である。 ☐ 研究途上の課題や困難点に粘り強く、かつ柔軟に対処している。 ☐ 幅広い知識を体系的に有し、多角的複眼的な思考力を発揮している。 ☐ チームワーク、他者との協働に優れている。(* 2)	5
成果	成果の水準と課題認識、将来への目標意識、今後の展望など	☐ 研究の成果・水準に対する自己評価が適切である。(* 1) ☐ 独自の発見・発明や独自の研究方法の開発など、介護分野への貢献が認められる。 ☐ 現時点での課題認識が明快である。(* 2) ☐ 今後の課題解決に関する方法・手段についても自分の考えをもっている。 ☐ 将来への目標意識をもっている。	5
発表	プレゼンテーションの明快さ、わかりやすさなど	☐ 研究の各プロセスにおける自分自身の関わり・寄与が明確でわかりやすい。(* 1) ☐ 発表内容がよく工夫されている。 ☐ 発表方法がよく工夫されている。 ☐ 論理展開に優れ説得力がある。(* 2) ☐ 言語が適切・明瞭である。	5
総合評価		☐ 高度で独創的な探究能力を発揮している。 ☐ 介護分野の発展に向けた熱意が感じられる。 ☐ 切実な課題への共感と解決への熱意が感じられる。(* 1) ☐ 研究活動に前向きで、楽しんで取り組むことができている。 ☐ 将来向け、大きな成長と発展が期待できる。	10
※カテゴリー①～④は1点ずつ・⑤は2点ずつになります。			30